

様式3

令和5年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（63） 学校名 豊田市立佐切小学校

1 テーマ

動植物をいつくしみ、豊かな心と体を育てる佐切ワールド

2 ねらい

- ・保護者や地域の方と連携し、地域ぐるみで動物や植物を育て、命の教育をすすめる学校づくりを推進する。
- ・佐切小学校に縁のある方々や有用な人材・題材を取り入れた教育をすすめる学校づくりを推進する。
- ・効果的な人的配置に努め、学習環境の整った中で、教育効果の高い学習をすすめる学校づくりを推進する。

3 活動内容

(1) 日常の活動

- ・動物の餌やりや飼育舎の清掃
- ・動物の体調観察
- ・動物の生活環境の整備
- ・野菜と花の栽培

(2) 特設の活動

- ・ウサギ小屋屋根改修（4月）
- ・鞍ヶ池公園動物園への飼育校外学習（5月）
- ・春の花の苗植え活動（6月）
- ・ウコッケイ小屋改修（11月）
- ・動物川柳句集の募集（12月～1月）
- ・動物フェスティバル（2月）
- ・動物川柳句集の発行（3月）
- ・藤嶋文庫および岩崎京子作品の活用（年間を通して）

(3) 授業での活動

- ・学級園での野菜栽培（年間を通して）
- ・動物の生態調査（年間を通して）
- ・動植物を育てる活動の教材化と実践（年間を通して）
- ・活性酵素（マイエンザ佐切）づくり（年間3回）
- ・学校畑でのさつまいも栽培（5月～10月）
- ・足助地区まごころ市場・足助ふれあい祭での堆肥販売（7月・11月）
- ・豊田青年会議所主催のイベントで佐切堆肥についての広報活動（11月）
- ・地域人材を講師としてのクラブ活動（年間5回）

4 成果と課題

(1) 成果

- ・保護者アンケート結果から、「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のあ

る教育活動をおこなっているか」という項目に対して高評価であることから、本校の特色である動物飼育に対して、地域・学校・保護者の連携が深まり、地域ぐるみの教育の推進が図れたことが伺えた。

- ・ 11月の豊田市青年会議所主催「Create the future」の発表では、動物の糞をもとに作る佐切堆肥「ぐ〜んベジ」を製作する会社の活動や、足助地区のまごころ市場や足助ふれあい祭での販売について活動報告をし、「ぐ〜んベジ」を学区外地域へ広めることができた。
- ・ 修学旅行で京都観光の際、外国人観光客に本校の堆肥作成の取組を紹介したパンフレットを配る広報活動を行うことで、堆肥活動についての意見をいただくことができた。
- ・ 2月の動物フェスティバルに向け、日々の動物飼育から学んだことのほかに、鞍ヶ池公園動物園の飼育員さんや近隣の小学校・専門機関から学んだことをまとめ、発表することができた。

(2) 課題

- ・ 児童が地域へ貢献していく活動のさらなる推進を図るとともに、動物飼育の活動について市域外への発信も継続していきたい。
- ・ 学習支援および環境支援に対する地域講師の一層の充実を図りたい。

(3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果

- ・ 校内整備員の配置により、動植物のための校内環境整備や畑の環境整備が図れた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ 学校だよりとともに、地域学校共働本部だよりを年間通して定期的に発行し、学区内全戸に配布するとともに、ホームページにも動物ページを作成し、小屋改修状況や飼育の様子に関する取組を随時掲載した。
- ・ 動物への思いを表現した動物川柳を、児童・保護者・職員だけでなく、地域の方からも広く募集し、句集を作成した。
- ・ 学校教育活動に携わっていただいた方々に感謝の気持ちを伝える「いつもありがとうの会」を実施することで、児童の感謝の思いを伝えるとともに、地域や保護者との関わりについて児童の認識を深めることができた。